



公益社団法人日本テニス事業協会加盟事業所

PLAY+STAY進捗状況調査 報告一覧

PLAY+STAY進捗状況調査回答事業所一覧

No.	事業所名	導入状況
1	ザバススポーツクラブ金沢八景	◎
2	スポーツクリエイトにしこくテニススクール	◎
3	高田馬場シチズンプラザテニススクール	◎
4	上福岡西友テニススクール	◎
5	青山ベルコモンズテニススクール	◎
6	川越水上公園テニススクール	◎
7	竹の塚インドアテニススクール	◎
8	八千代スポーツガーデンテニススクール	◎
9	TOPインドアステージ相模大野	◎
10	TOPインドアステージ亀戸	◎
11	TOPインドアステージ津田沼	◎
12	TOPインドアステージ多摩	◎
13	TOPインドアステージ氷川台	◎
14	ティップネス鴨居インドアテニススクール	◎
15	グリーンエイトテニススクール	○
16	シンポウテニスリゾート	◎
17	ノア・インドアステージ南草津	△
18	久山テニス倶楽部	○
19	高井戸ダイヤモンドテニスクラブ	◎
20	自由ガ丘インターナショナルテニスカレッジ	◎
21	松戸テニスクラブ	◎
22	青葉台ローンテニススクール	○
23	善福寺公園テニスクラブ	◎
24	武蔵野テニスシティー	◎
25	有明ジュニアテニスアカデミー	◎
26	遊プラザテニススクール	◎
27	セブンカルチャークラブ大井町	◎
28	セブンカルチャークラブ武蔵小杉	◎
29	レックインドアテニススクール上石神井	◎
30	レックテニススクール府中	◎
31	セブンカルチャークラブ上尾	◎
32	セブンカルチャークラブ厚木	◎
33	セブンカルチャークラブ伊勢原	◎
34	セブンカルチャークラブ浦和	◎
35	セブンカルチャークラブ久喜	◎
36	セブンカルチャークラブ武蔵境	◎
37	セブンカルチャークラブ相模原	◎
38	セブンカルチャークラブ藤沢	◎
39	Neoインドアテニススクール西新井	◎
40	セブンカルチャークラブ橋本	◎
41	高島平インドアテニススクール	◎
42	レックテニススクール春日部	◎
43	(株)ルネサンス	◎
44	(株)ITC	◎
45	香里グリーンテニスクラブ	◎

導入済み◎
 道具のみ○
 予定あり△

2013.10～

報告書 提出事業所数

43 事業所

※本社一括回答数

3 事業者

①研修会等の実施状況（内容・回数・参加人数など）

【内容】 ※()の中は同意見の事業所数

- 各カテゴリー別のメニュー紹介・検討(16)
- JTIAの研修に参加(7)
- TTC見学(7)
- PLAY+STAYの説明(6)
- レッド・オレンジ・グリーンボールの試打(4)
- TTCより講師招聘(4)
- 導入マニュアルの作成・実施(3)
- 神谷氏による研修会(2)
- 溝口プロによる地方でPLAY+STAYを普及するために開催されている内容の研修
- お客様(保護者)からの意見の共有会
- 保護者への全スタッフ共通説明の練習
- テニス＝ゲームの理解を深めるためのディスカッション
- 子どもとの接し方研修
- GBAに基づく考え方研修
- tennis10について
- 起こりうる問題点の共有

【回数】 ※外部の研修会に参加以外の自事業所(自社)開催の研修会のみ対象
※()の中は同意見の事業所数

現在までに

- ・週に1回開催中(2)
- ・7回実施(3)
- ・4回実施(3)
- ・3回実施(6)
- ・2回実施(4)
- ・1回実施(2)
- ・月2回開催中
- ・月1回開催中
- ・2ヶ月に1回開催中

【参加人数】 ※各回参加人数か累計かは不明
※()の中は同意見の事業所数

- ・10名～20名(9)
- ・20名～30名(9)
- ・45名程度

②PLAY+STAY のクラス導入状況など

【クラス分け】 ※()内は同意見の事業所数

- レッド・オレンジ・グリーンボールを使用(3)
- オレンジ・グリーンボールを使用
- キッズ、ジュニアクラスで導入(詳細不明)(5)
- 一般クラスにも導入(4)
- 一般的なクラス分け(10)

U6: スポンジボール・レッドボール

U9(初心者): レッドボール

U9(経験者): オレンジボール

U12(初心者): オレンジボール

U12(経験者): グリーンボール

U18(初心者): グリーンボール・イエローボール

Jrトーナメント・U18(経験者): イエローボール

■ある多店舗展開の事業者の場合

レッドボール使用クラスは、社内18校のうち10校。
オレンジボール使用クラスは、社内18校のうち4校。
グリーンボール使用クラスは、社内18校のうち10校。

【時期】 ※()内は同意見の事業所数

- 2009年～用具導入
- 2010年～
- 2011年～
- 2012年～導入開始(11)
- 2013年4月～
- 2013年10月～導入予定

【内容・感想など】

■ゲームベースアプローチで進行。ラリーなど目に見えてテニスを楽しむ環境ができ、今までのショット別練習を織り交ぜることによってよりレッスンの幅が出来た。

■導入するまでは、ジュニアクラスではノーマルボールでレッスンを行っており、高いバウンド・速いボールについていけない子どもが多くみられたが、導入後はボール遊びからラリー、ゲームまでの習得時間が短縮されたように感じる。何より、子どもにとって安全で扱いやすいボールを使用することで、上達のスピードもあがり、楽しんでテニスを継続する子どもが増えた。

■特にラリー練習とゲーム練習で使用。

■ラリー形式のドリルを行う割合を増やす。

■ネットの高さを生徒の体格に合わせて低くする。

■必ずコーディネーショントレーニング、ラリー、サービス、ゲームを取り入れる(2)

■動いて打たせる、狙わせる、ラリーを続ける、を各コーチが意識して指導。

■中学年・高学年の子供達より低学年の方が上達が早い、効果がある。

■試合への参加率が上がった。

■グリーンボールに関しては使用頻度も多く消耗も激しい為に、イエローボールの空気の抜けたボールをグリーンボールの仲間に入れて使用。

【事例集】

- レッドボールをリーグ戦、オレンジ・グリーンボールをトーナメントで開催
計5回 55名参加
- 2012年GWにレッドボールの大会を開催
70名参加
- 不定期にレッド、オレンジ、グリーンボールを利用して少数で開催
- 2012年9月
新座市ジュニア小学生大会の初級者の部を男女混合グリーンボールで開催
32ドロウ
- 2012年12月
オレンジボール大会：参加人数12人（満員）
グリーンボール大会：参加人数 9人
PLAY+STAYを取り入れたことにより、初心者・初級者の子ども達が進んで参加するようになった。
- 2012年12月
第1回グリーンボールテニストーナメント開催 12名参加
2013年4月
第2回グリーンボールテニストーナメント開催予定
- 2013年4月～5月
第1回グリーン・オレンジボールテニストーナメント開催予定
- レッスン最終週にクラス内トーナメントを実施
- 2013年よりジュニア年間ツアーを開催
- 定期的にかテゴリー毎の試合やゲーム練習会を実施。
- 10歳以下のグリーンボールの試合を開催
- U9・U12クラスのレッドボール大会を2012年は2回開催。各クラス各回6名ほど参加
U18クラスはイエローボール大会を2012年は6回開催。
- 祝日の早朝の恒例イベントとしてレッド・オレンジ・グリーンボールの試合を実施。
- 2013年3月
レッド・グリーンボールのスクール内試合を開催予定
- 他社と共同開催の10歳以下とビギナージュニア大会にてグリーンボールを使用。
2012年12月に2回、2013年3月に1回実施。4月に2回開催予定。
- 2013年5月からスクール内で各ボール使用の大会を行う予定。
- 2013年5月に近隣スクールと合同試合を開催予定。

■初めて試合にでる方を対象とした試合
計2回 10名弱

■2013年1月1日

ジュニアレッドボール大会 4名参加

ジュニアオレンジボール大会 4名参加

■2013年1月

ジュニアオレンジボール大会 9名参加

ジュニアグリーンボール大会 3名参加

■長期休暇に合わせてトーナメント方式で開催。

■定期的に開催し年間チャンピオンを決める。

■毎年3月末にグリーン・レッド・イエローの部を開催。

■毎月、部内ランク戦でもイエローの部とグリーンの部に分けて開催。

■2012年、多店舗展開している事業者が自社開催及び他社との共同開催で実施した大会の参加人数

2012年1月 : レッド 27 オレンジ 8 グリーン 17

2012年2月 : 開催なし

2012年3月 : レッド 18 オレンジ 41 グリーン 25

2012年4月 : レッド 9 オレンジ 11 グリーン 6

2012年5月 : レッド 34 オレンジ 37 グリーン 49

2012年6月 : レッド 6 オレンジ 5 グリーン 9

2012年7月 : レッド 8 オレンジ 12 グリーン 30

2012年8月 : レッド 2 オレンジ 11 グリーン 5

2012年9月 : レッド 0 オレンジ 2 グリーン 8

2012年10月 : レッド 0 オレンジ 8 グリーン 12

2012年11月 : レッド 5 オレンジ 10 グリーン 14

2012年12月 : レッド 16 オレンジ 27 グリーン 32

小計 : レッド 125 オレンジ 172 グリーン 207

合計 : 504名 (開催日数 38日 / 平均参加人数 13.2名)

■実施期間:2012年4月～2013年3月

○男子(小学校6年まで)

ノーマルボール使用(レッスンはグリーンボールも併用)

回数:6回

参加人数:88名

○女子(小学校6年まで)

ノーマルボール使用(レッスンはグリーンボールも併用)

回数:5回

参加人数:28名

○男女(小学校6年までの初心者)

グリーンボール使用

回数:4回

参加人数:21名

■ゲーム性を重視したので、とても楽しいと思うことが多くなっている。その反面、コーチング力の差も出やすくなっているので、コーチング能力が問われる。もっと研修を重ねてより良いものを提供したい。

■ゲームを楽しく取り組めるようになった。(レベルに沿った試合)

■まだ本格導入はしていないがクラスでPLAY+STAY的なレッスンをしたところ従来の段階的指導法に比べゲーム性が強く子供達自身が考えて、楽しみながらレッスンをしてきている。ただ大人数になるとなかなか難しい気がするのと、PLAY+STAYを広める為の研修を受ける場が少ない。

■導入当初は「硬いボールを使いたい!」「なんで使わないの?」と言われたが、現在は今までノーマルボールでは難しかった子ども同士のラリーやゲームの時間が充実するようになったため、楽しんでいるように感じる。コーチ側も、慣れてきた子どもには「相手のことを考えて打つんだよ」と声をかけ、なるべく子ども達に考えさせるレッスンを心掛けている。このような指導ができるのも、子どもの体格やレベルにあったボールやコートの使用、PLAY+STAYの考え方を取り入れたからであると思う。ただ、長い間、ジュニアでもノーマルボールを使い、球出しをたくさんするレッスンを行っていたので、長年勤めているコーチにとってはレッスン法に戸惑いを抱いている。もっと、PLAY+STAYに関する研修に参加し、技術や知識を身につける必要性を感じる。

■イエローボールではラリーが出来ないレベルのジュニアは、ラケットを振り切ってもコートにボールが入るので、喜んで使用している。段階的指導にマッチしているので、現場のコーチも積極的にPLAY+STAYのボールを使用してる。

■少しずつだが自分自身で考え、狙うコース・ショットを選び、プレーをするようになってきている。また子供たちがゲームをする際に、感情が豊かになったと感じる。勝利することの達成感、悔しい思いや失敗を経験し、感性豊かな子供が以前より増えてきている。

■PLAY+STAYは子供を中心に話をされがちだが、テニスをする誰しもが楽しめるプログラムだと思う。やはり球出し練習のような修行よりも試合の方が誰しも楽しいのだ。したがって当校では子供だけでなく大人の方にも楽しんでもらっている。

■子供達のラリーの繋がりが良くなったことは勿論だが、振り切って狙い、戦略がわかり易くなってきている。こちらから指導をしていないイマジネーションなショットなども出るようになってきているのは、軽いボールでグリップも程よい厚さから器用な事が出来る子供達が増加してきている。当然子供達は「早く試合をやろう!」「次は何を練習するの?」というように意欲的になってきている。

■見た目において違いが明確になることで保護者にアピールしやすいという声がある一方、多人数クラスにおいては導入が難しいという声もある。

■ラリーができることやゲームが成り立っていることを楽しめている子供達が沢山いる。上のレベルでイエローボールを使っているのを見て、それを使いたいと思っている子供もいる。保護者は、早くイエローボールを使わせて欲しいという方と今のボールで上達できているので継続して使って欲しいという方に分かれる。

■遊び要素を感じる色々なセットやラケットとボールでレッスンというよりも「楽しい時間」としてスクールに来てもらえている。大きなコートでテニスをしてみたい、普通のボールで練習したいとの意見もあるが、ラリーやゲームはPLAY+STAYのボールでやりたいなどラリーが続く、ゲームも熱戦になるなど簡単に感じて遊びやすいから使いたいとされる声が多数ある。

■ボールやコートの変化による不満はほぼ見られない。ラリーの内容が多いため、ただ強く打つだけのショットは見られなくなった。試合を進行するためのコールや、自分で判断するなど自発的な行動が多くでている。スペースを使い、待っているだけの時間をなくすことで活気がでている。クラス内でのペアリングや練習内容に個人差をつけレベル差に対応できるかが今後の課題だと感じる。

■低学年でも簡単にラリーやゲームが楽しむことができテニスへの興味を持つことができ、楽しみながら上達する。試合に参加することで向上心が増している。

■みんなとやるゲームが楽しい、ラリーが長く続くので楽しいと聞く。幼稚園児から子供同士でのラリーができる。今まで「技術面(打ち方)」の練習比重が多くなっていましたが、ラリー・ゲームの練習割合が増えてきた。今まで球出し練習だけでは教えることが難しかった事が、ラリーの中で自然と習得できるようになった。保護者からは子どもが週1回のテニスを楽しみに待つようになった、テレビでテニスの試合をやっていると興味深く見入るようになったと言われた。

■今までよりコーチの打ってる回数が減ったために、コーチ達から打ち足りない感じがするとの声がある。ラリーペースな分、以前より子供達につなげる意識が出てきたと感じる。一面の人数が多いクラスにおいては安全面をかなり気を付けて行わないといけないのでメニューが難しい。

■全体的にはテニス＝ゲームの考え方のもと、競い合う事の楽しさを感じてもらえているのではと感じているが、集団レッスンということもあり、コーチの資質向上が子どもたちにテニスを楽しんでもらう為の絶対条件である事を痛感している。

■試合(打ち合い・競い合い)の時間がレッスンの大半を占めるようになり、これまでのクローズドスキル練習の時より子供たちは楽しそうに見える。ただオープンスキルだけでは、なかなかテニスをイメージできていない子供にとってスイングの基礎などを身につけることが難しく、つついボールフィーディングによる練習が増えてしまいがちだ。隣のコートに自分達の目指す姿がある環境ではこのような問題がないのだろうがそうでないスクールではいかにコーチが“魅せる”ことが重要だと感じる。保護者からは保護者の方としっかりコンセンサスが取れているクラスのみ導入しているので、予めPLAY&STAY導入を説明することができていることでこれまでのレッスンスタイルとの違いに不満の声はあがっていない。逆にテニス本来の「ボールを打ち合う」「競い合う」楽しみを子供が感じていることに共感いただけていると思う。

■体格とレベルによってボールの使い分けをしているのでラリーがつながり、点を取ることを考えるようになったので試合が楽しいと言われた。相手を動かしたりできるようになった。